

令和6年第1回新車部会運営委員会 議事録

日 時 令和6年4月25日(木)

場 所 熊本県自動車会館3階特別会議室

参加者 齊藤担当理事

松田将史副運営委員長 林田圭二副運営委員長

齊藤博委員 松野栄司委員 皆吉裕介委員 青木啓至委員

武谷正勝委員代理 中元直人委員代理

熊本県軽自動車協会 児玉久光専務理事

(株)熊日広告社 前原史弥次長 佐藤直樹課長 入江潤一郎

東京海上日動火災保険(株)

熊本支店自動車営業支社 支社長 佐藤 宣人 様

支社長代理 鴛海 大輔 様

営業推進部モビリティ室 課長 高橋 正樹 様

事務局 松本伸二専務理事 羽田野晃央事務局長

カーボンニュートラルについて東京海上日動火災保険(株)来賓としてお越しの3名の紹介があった。また、吉村運営委員長欠席の為、本日は松田副運営委員長の司会進行で始まった。

○齊藤 担当理事 挨拶

皆さんお疲れ様です。今日は新車部会、第1回目ということで、今年の重点取り組みについてと、役員改選、並びに「合同キャンペーン」について話し合いたいと思います。

冒頭、東京海上日動様からカーボンニュートラル(CN)について話をさせていただきます。CNの推進は業界としても数年前から全社的に取組んでいかなければならない課題として取り上げられています。熊本としては3年前から、当時、西担当理事の時に、CNスタディチームをこの新車部会の運営委員会に立ち上げ、知見を深めてきたという経緯がございます。そんな中で、熊本としてはCNの啓蒙活動であったり、エコカーの推販であったり、店舗のグリーン化、省エネとか充電設備の普及等々、「3つの柱」で活動していきましょう、という方向で進んできました。本日、東京海上日動の方からお話を聞き、CNに対する取組みの現在の状況をご理解いただきたいと思います。

また、この後議論をします「新車ディーラー合同キャンペーン」のバックボーンにCNを入れてみようとか、これまでいろいろ議論を重ねCNへの理解を深め、活動を具体的に進めて参りました。本日、今年、第1回目ということで、議題の多い中ではありますが、ぜひ積極的に意見交換していただき、中身を詰めていただければと思いますので、よろしくお願いします。

○松田副運営委員長議事進行

東京海上日動火災保険(株) 佐藤支社長から資料をもとに説明がされた。

〈発表内容〉カーボンニュートラルの取組みについて

自販連熊本県支部の取組み方針

C02 排出量データについて 取り組み 3 本柱の二の柱

「新車販売を通じた C02 削減量の見える化」活動

●2021 年新車販売実績の基づく温室効果ガス排出量－2014 年（7 年前）

＝2021 年の新車販売活動による削減量 結果報告

○ガソリン車が大幅に減ったことから総排出量は減少

○HV（ハイブリッド）車は台当たり排出量が減少（性能が向上）し、総排出量の減少にも影響。

➤ 結果、C02 排出量は全体で 5%程度、減少した

●2021 年と 2023 年の C02 排出量の比較

燃料車種別排出量により

○ガソリン車は台数が増加したが排出量減少

○HV 車は台当たりの排出量が増加（大型の HV が増えた為か検証する必要あり）

○ディーゼル車の台数・台当たりの排出量が増加

➤ 結果、C02 排出量は全体で 62,521 トンと増加した

●新車販売台数・燃料者別割合データ（全国との比較）

燃料者別割合は全国では HV 比率が高い ※今後も定点チェックを行う
以上で、東京海上日動の 3 名は一旦退席された。

議題 1、年間重点取り組みについて 事務局から説明。

1) 経営の効率化に向けた情報の共有

1. 新車新規 OSS 申請件数の引き上げ
2. 新車登録の平準化により業務効率を改善する
3. 付加価値向上に向けた新規保険の獲得
4. 登録諸費用の事前回収の促進

※毎月の結果を報告予定

2) 企業倫理・法令順守の徹底

1. 規約順守調査中古車の支払総額表示含む 10 月・11 月で取組む
2. 新聞・チラシ等の規約遵守強化（新聞広告・チラシ回収調査）8 月・9 月
3. 自動車相談ブロック研修会への参加

3) 新車ディーラー合同キャンペーンの開催

新車ディーラー16 社合同キャンペーンの実施 7 月に開催予定

4) 部会活動の充実を図り連携を強化

5) 安心・安全対策への取り組み強化

サポカー体感・体験試乗会開催<地域貢献> 9 月秋の全国交通安全期間中
熊本県警察本部と合同企画

6) カーボンニュートラルに向けた取り組み

議題 3、新車ディーラー合同キャンペーンについて審議がなされた

(株)熊日広告社 前原様 佐藤様から説明があった

名 称 第13回 2024年度新車ディーラー合同キャンペーン
 実施期間 2024年7月13日(土)～14日(日)2日間
 実施場所 熊本県自動車販売店協会会員販社各店舗
 主 催 熊本県自動車販売店協会・熊本県軽自動車協会
 内 容 新車成約プレゼントの実施
 協 賛 16社
 テーマ CN訴求によるエコカー買い替え需要促進
 成約プレゼント AorBから選んでもらう
 A:カーボンオフセット付与付きカタログギフト(やさしいみらい)ひらり
 B:がんばろう北陸チョイスFGBコース(北陸3県復興支援)
 試乗・査定プレゼント 再検討
 2日間の成約台数×1,000円を地球温暖化対策支援金として熊本県へ寄付
 ポスターについて・・・再検討
 アンケートの実施
 予算について・・・広告等、全額販売店協会負担
 のぼり旗・成約プレゼント・試乗・査定プレゼント・・・各社請求

議題2、役員改選について

運営委員長	ユナイテッドトヨタ熊本	吉村取締役	任期中
副運営委員長	熊本三菱自動車販売	林田執行役員	重任
副運営委員長	熊本日産自動車	松田部長	重任
委員交代ルールに基づき			
Aグループ	ユナイテッドトヨタ熊本	吉村取締役	重任
	熊本トヨタ自動車	上村部長	新任
	熊本トヨペット	齊藤部長	担当理事枠
Bグループ	熊本日産自動車	松田部長	重任
	日産プリンス熊本販売	竹尾部長	新任
Cグループ	熊本三菱自動車販売	林田執行役員	重任
	スズキ自販熊本	米倉次長	新任
輸入車グループ	ヤナセ九州営業本部	諸岡支店長	新任
大型グループ	熊本日野自動車	米村取締役	新任

以上となった。

令和6年第1回新車部会 議事録

日時 令和6年4月25日（木）12時20分～

場所 熊本県自動車会館4階第1～3会議室

参加者 齊藤担当理事

松田将史副運営委員長 林田圭二副運営委員長

齊藤博委員 松野栄司委員 皆吉裕介委員 青木啓至委員

武谷正勝委員代理 中元直人委員代理

上村誠会員 塚野洋会員 松本圭介会員 米倉潤二会員 古閑 宰会員

米村正成会員 若杉浩治会員 弓削貴裕会員 境信雄会員

津留伸会員代理

熊本県軽自動車協会 児玉久光専務理事

（一社）日本自動車連盟熊本支部 与座公弘事務所長

㈱熊日広告社 佐藤直樹課長 入江潤一郎

東京海上日動火災保険㈱

熊本支店自動車営業支社 支社長 佐藤 宣人 様

支社長代理 鴛海 大輔 様

東京海上日動火災保険㈱

営業推進部モビリティ室 課長 高橋 正樹 様

事務局 松本伸二専務理事 羽田野晃央事務局長

冒頭 東京海上日動火災保険㈱ 佐藤支社長から資料をもとに説明がされた

＜発表内容＞カーボンニュートラルの取組みについて

自販連熊本県支部の取組み方針

C02 排出量データについて 取組み3本柱の二の柱

「新車販売を通じたC02削減量の見える化」活動

●2021年新車販売実績の基づく温室効果ガス排出量－2014年（7年前）

＝2021年の新車販売活動による削減量 結果報告

○ガソリン車が大幅に減ったことから総排出量は減少

○HV（ハイブリッド）車は台当たり排出量が減少（性能が向上）し、総排出量の減少にも影響。

➤ 結果、C02排出量は全体で5%程度、減少した

●2021年と2023年のC02排出量の比較

燃料車種別排出量により

○ガソリン車は台数が増加したが排出量減少

○HV車は台当たりの排出量が増加（大型のHVが増えた為か検証する必要）

○ディーゼル車の台数・台当たりの排出量が増加

➤ 結果、C02排出量は全体で62521トンと増加した

●新車販売台数・燃料者別割合データ（全国との比較）

燃料者別割合は全国ではHV比率が高い ※今後も定点チェックを行う
販売店様ごとのデータに関しては今後提供
続いて 東京海上日動火災保険㈱の高橋様から資料をもとに説明。
カーボンニュートラルについて、一般的な情報報告があった

○齊藤担当理事挨拶

2024年度の第1回目の新車部会ということで、連休前のお忙しいというところ、お集まりいただきましてありがとうございます。先ほど運営委員会を開催しまして、今年度の重点取組みと合同キャンペーンの可否・役員改選等と議論をさせていただきましたので、この後ご報告させていただきます。それに加えまして、先ほどご紹介のあった、東京海上日動様に来ていただいておりますが、昨年から実施しているカーボンニュートラル(CN)の取組みの一環として、**熊本県の自動車販売店におけるCO2排出量の見える化**とその後のCO2削減量についてご報告させていただきますので、よろしくお願いたします。そもそもCNの推進につきましては、約3年前、当時の西担当理事を中心に、CNスタディチームを新車部会の運営委員会内に作り、まずは行政の話聞いて知見を深め、有識者をお招きしセミナーを開催をするなど、色々、勉強してまいりました。

その後、1、「CN啓蒙活動」 2、「新車販売を通じたCO2削減の見える化」 3、「クリーンでグリーンな販売店活動」といった「三本柱」を決め、熊本県の業界として取組んで参りました。CO2削減の見える化に関しましては、関連本部から案内が来ている通り、「ゼロボード」という通常ツール等を使って、各社で見える化が進められている事かと思えます。ただ、各社毎だけではなく、自動車販売をしている中で、県単位でどれくらい削減しているのか、という実績を「可視化」できるようにしているのが、今回東京海上さんに お願いし、お手伝いいただいている取り組みということでございます。その考え方を含め合同キャンペーンの中でも、昨年からのCNという考え方をもとに、県民の皆さんにエコカーを推販することで、CNにつながるということをテーマに、本年度も実施したいと思っていますので、引き続きよろしくお願いたします。

○松田副部長議事進行

議題1、年間重点取組みについて委員会で承認された項目を事務局から説明

1) 経営の効率化に向けた情報の共有

1. 新車新規 OSS 申請件数の引き上げ
 2. 新車登録の平準化により業務効率を改善する
 3. 付加価値向上に向けた新規保険の獲得
 4. 登録諸費用の事前回収の促進
- ※毎月の結果を報告予定

2) 企業倫理・法令順守の徹底

1. 規約順守調査中古車の支払総額表示含む 10月・11月で取組む
2. 新聞・チラシ等の規約遵守強化(新聞広告・チラシ回収調査) 8月・9月
3. 自動車相談ブロック研修会への参加

3) 新車ディーラー合同キャンペーンの開催

新車ディーラー16社合同キャンペーンの実施 7月に開催予定

- 4) 部会活動の充実を図り連携を強化
- 5) 安心・安全対策への取組み強化
サポカー体感・体験試乗会開催〈地域貢献〉9月秋の全国交通安全期間中
熊本県警察本部と合同企画
- 6) カーボンニュートラルに向けた取組み
取組み内容の審議

議題3、新車ディーラー合同キャンペーンについて

(株)熊日広告社 佐藤様から報告があった

名 称	第13回2024年度新車ディーラー合同キャンペーン
実施期間	2024年7月13日(土)～14日(日)2日間
実施場所	熊本県自動車販売店協会会員販社各店舗
主 催	熊本県自動車販売店協会・熊本県軽自動車協会
内 容	新車成約プレゼントの実施
協 賛	16社
テーマ	CN訴求によるエコカー買い替え需要促進
詳 細	※運営員会議事録参照

その他

- 熊本県軽自動車協会 児玉久光専務理事から
軽協会における取組み事項の報告があった
1月～2月にかけてミニCMを企画 今後も継続したい
- 一般社団法人 日本自動車連盟熊本支部 与座公弘事務所長より
資料をもとに説明 ・ J A F 熊本支部 2023年度 4～3月 事業報告

次回開催予定日 事務局より連絡致します。

以上で第1回新車部会は終了した。